

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	小平第二みどり作業所			第三者評価受審年度	平成30年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (平成30年度)	改善計画 (平成30年度末時点)	実施状況 (平成30年度末時点)	実施状況 (平成30年度末時点)	
任せながら教え育てることを基本に、職員一人ひとりの専門性の向上とリーダー層の育成を図っていくことが期待されます	事業所内にリーダー的な存在の職員は少なく、それが一つの課題となっている。職員個々の状況に合った研修育成計画を作成し、実践に取り組んでおり、職員一人ひとりの専門性は少しずつ向上している。しかし、入職後3年未満の職員が多く、事業をコーディネートできるレベルには至っていない。	各職員の適正把握を丁寧に行うことで、リーダー層候補者の選任を行い、集中的な指導、育成を行う。	施設長による、職員の業務観察が十分に行えておらず、リーダー層の選任には至っていない。		
非常事態の想定とそれに対する対応策の検討や災害に対する職員の意識付けへの工夫に期待します	年2回の自衛消防訓練と年1回の防災訓練を実施している。災害時の対応マニュアルは策定していたが、非常事態の想定とそれに対する対応策の検討や災害に対する職員の意識付けには取り組んでいなかった。	自衛消防訓練、防災訓練を継続して実施するほか、事業継続計画を策定し、職員に周知する。	事業継続計画を策定し、職員へ周知を行った。		
個別支援計画の改訂に伴い、支援の根拠は明確になりましたがモニタリングへの取り組みも充実させることが期待されます	個別支援計画の見直しを6か月に1回取り組んでいるが、計画の内容を評価するモニタリングがやや不十分であり、「できていること」「できていないこと」の基準の整理が行えていない。	全利用者に対し、モニタリングを実施し、支援計画の目標や課題の達成度の分析、評価、見直しを実施する。	全利用者のモニタリングを実施したが、支援度の高さや、状況の変化が大きくみられた約半数の利用者を重点的に実施することとなり、全利用者の内容充実には至っていない。		